地域スポーツ振興計画

背景

• 生涯スポーツ社会の実現をめざして

国が策定したスポーツ振興基本計画では、政策目標として

生涯スポーツ社会の実現のため、できるだけ早期に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%以上になることを目指す

と掲げられており、この目標の達成のための具体的方策として

10年間で全国の市区町村において少なくとも一つは総合型地域スポーツクラブを育成すること。(将来的には中学校区の地域に密着)

市町村においてもスポーツ振興計画を策定・改定すること

等を打ち出しています。また、国では、平成 17 年度いっぱいで計画を見直すこととしており、市町村においても市町村合併後の地域融和策や介護予防事業への対応など、新しい視点に立って地域スポーツ振興計画を策定・改定することが必要となっています。

市町村としてスポーツ振興計画を策定する意義

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、明るく活力に満ちた地域社会の形成のためにも大きく貢献するものであり、市町村としてスポーツの振興に積極的かつ計画的に取り組む意義は大きいものがあります。

スポーツ活動を通じた地域連帯感や地域教育力の強化

スポーツを通じて住民相互の交流を深めるとともに住民が一つの目標に向かい、共に努力し達成感を味わうことや地域の誇りと愛着を感じることにより、地域の一体感や活力の醸成、地域教育力の強化に大きく寄与することが期待されます。

青少年の健全育成や若者の定住促進への寄与

スポーツを通じて克己心やフェアプレイの精神が培われ、豊かな心と他人を思いやる 心、多様な価値観を認めあう心等が育まれ、青少年の健全育成、人間力向上に大きく資 することが期待されます。同時に地域へのアイデンティティの高まり等から、若者の地 域定住志向の向上が期待されます。

生活習慣病の予防と医療費の節減への寄与

スポーツ活動は、体力の向上や精神的ストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものであり、ひいては医療費の節減に大きく寄与することが期待されます。

スポーツに関わるコミュニティビジネスの育成と雇用機会の拡充

地域スポーツクラブの育成やスポーツ・レクリエーション施設の管理運営を NPO などの地域団体に委託するなどにより、新しいコミュニティビジネスの創出や雇用機会の拡充など地域経済効果への波及が期待されます。

視点

計画策定にあたっては、上記の策定の意義を踏まえ、大きく次の3つの視点で検討します。

視点1 生涯スポーツ社会の実現に向けた地域におけるスポーツ環境の整備充実方策の検討及び学校体育との連携方策の検討

視点2 若者定住促進や元気高齢者づくり等の視点からみた多様かつ柔軟なスポーツサービス 提供システムや施設利用システムの再構築

視点3 まちおこしリーダーやスポーツに関わるコミュニティビジネス創出の視点からみた地域スポーツ団体・組織の育成及び人材育成方策の検討

ステップ

本計画は、次の調査ステップ、調査項目で実施します。

ステップ1 基礎調査の実施

地域の特性及びまちづくり方向の調査・分析 スポーツ環境の整備状況調査の実施ととりまとめ 体力・スポーツに関する住民意識調査の実施ととりまとめ 各種スポーツ・健康関連団体、主要サークル責任者等ヒアリング 調査及び一般住民によるワークショップの実施 行政各部門担当者ヒアリングの実施 地域ニーズ、課題のとりまとめ

ステップ2 基本構想の策定

スポーツを取り巻く状況とこれからのスポーツ振興の基本理念スポーツ振興の基本目標と公共・民間の役割分担の方向 生涯スポーツ総合システムの確立方向 スポーツ振興施策の体系と基本的展開方向 重点プロジェクトの選定と展開方向

ステップ3 基本計画の策定

生涯スポーツ活動の推進計画

ライフステージに応じたスポーツ活動の実践計画 指導体制の充実と指導者の育成 スポーツ医・科学の活用 学校教育分野及び民間との連携 競技スポーツの振興(競技力向上及び各種大会の誘致等) 地域スポーツ健康づくり活動の振興計画

スポーツ・レクリエーション施設の整備計画

生涯スポーツ推進のためのスポーツ施設のあるべき姿必要とするスポーツ施設の整備目標

施設配置計画

施設管理と人的配置計画

スポーツ団体及び地域スポーツ組織・スポーツビジネス育成計画

スポーツ団体の育成計画

総合型地域スポーツクラブなど地域組織の育成及びコミュニティスポーツビジネス育成計画

スポーツ情報のネットワーク化と広報計画

スポーツ情報のネットワーク化計画 スポーツ情報の提供・広報体制計画

推進体制の整備計画

ステップ4 計画内容の調整と確定